

CASE PRESENTATION

Dentist

Technician

Hygienist

ペリオナビゲーションを活用して 歯科衛生士を育てる



東京都日野市 村上歯科医院
歯科衛生士
村上恵子

はじめに

ペリオナビゲーションは、プロービング診査をより効率よく行うためのツールである。プロービング診査は歯科医師にとって、基本的な歯周疾患の診断や治療計画の立案、患者さんに対しては疾病の進行度合いや治療の計画を説明するうえで重要な検査である。また、治療を再評価するうえでも必要不可欠となってくる。

では、歯科衛生士にとってのプロービングはどうか。チームワークの中で歯科医師と同じ基準で歯周疾患を認識し治

療を進めていく、あるいは歯周基本治療を行う際に、炎症の度合い、歯周ポケットの深さや形態の把握などの情報を得るためには必須である。そのうえ、歯科衛生士が歯周基本治療計画を立案するための判断基準となる検査でもある。

当医院では平成11年よりペリオナビゲーションを導入しているが、当初の目的はオレリーデータやプロービング診査をひとりで行うことができる、あるいは患者さんに対して検査結果をオンタイムに活用

して分かりやすく説明できるということであった。実際に臨床で使用してみても、時間の短縮とそれにとまなう歯周検査における効率の向上、データ表示が美しく患者さんが分かりやすいなど、期待以上の効果をもたらしてくれ、導入して正解であったと今でも確信している。それに加えて、ペリオナビゲーションの導入が歯科衛生士の新人教育にたいへん役立つことにも気づかされたので紹介したい。



1-1 歯科医師にとってのプロービング診査は、歯周疾患を診断する重要な検査である。



1-2 チームワークの中で共通の基準を持つことが大切。

プロービング診査は歯科衛生士にとって基本です。誰が担当しても同質な結果を得られるようスタッフ間でも多くのトレーニングをつみましょう。

新人歯科衛生士にはまずプロービング技術の習得を

歯科衛生士への教育は、当医院でも大きな課題であり、ある程度当医院の治療システムを一通り理解して患者さんをまかせる立場になったとしても、すぐにどのようなケースでも担当できるという訳にはいかない。どうやって後輩を育てていこうかと試行錯誤の繰り返しであった。

そこで、まず歯科衛生士として個々の患者さんに適切な口腔内清掃用具を選択できること、歯肉縁下へのアプローチを

実施するうえでの歯肉の炎症度合い・歯周ポケットや歯根形態や歯石付着状況を正確に把握できることを目標として立てた。きちんとした歯周基本診査を習慣づけることがプロフェッショナルとしての技術的な第一歩になると考えたのである。そして、その基礎となる「プロービング」の技術指導からまず取り組んだ。慎重な対応が迫られる歯周疾患の進んだ患者さんに対してでも、プロービングであれば

先輩がサポートをしながら新人歯科衛生士でも患者さんの理解を得て担当できるからである。また、プロービング値が正しく測定できれば、インスツルメンテーションにおいても歯周縁下へのアプローチが正しくできるようになることにもつながるため、さまざまな臨床ケースでのプロービング検査を経験させている。



2-1 健康的な組織を見極めて、オーバーインスツルメンテーションにならないように指導をしなければならない。



2-2 上顎4番のような根形態にともなう部位の特異性を把握する。



2-3 歯周疾患が進行した状態の患者さんでも先輩歯科衛生士のアシスタントとしてプロービング診査を測定してみる、あるいは再評価時にデータを取ってみるなど、難しい症例にも接することができる。

プロービング値の測定基準を統一し、問題を正確に把握する

プロービングにおいては、測定する術者、担当する歯科衛生士によってプロービング値が異なると、基本的なミスにつながってしまう。誰が測定しても同じように測定できるようにプロービングの測定法・圧・歯間部における角度などの基準は統一しなければならない。新人指導ではスタッフ全員が集まって実習し、再認識できるように心が

けることが大切である。

たとえば、「歯周ポケットの深さが5mmである」という状況を考えてみたとき、理由や原因はさまざまであり、個々の原因に対する歯肉縁下のアプローチも異なってくる。プロービングで得られた数値から問題を正確に把握し、適切な器具の選択ができるようにならなければならない。



3-1 当医院における新人歯科衛生士のプロービング実習。先輩歯科衛生士に囲まれてプロービング測定の方法や圧（理想的には25g）などの確認をする。



3-2 正しいプローブの持ち方（「ペンクリップ」）。



3-3 プローブは歯軸方向と平行に挿入することを必ず確認する。



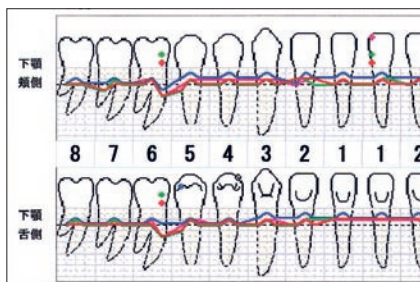
3-4 プローブの先端が舌側方向へ挿入された場合には、実際より深く測定してしまうことがあるので注意が必要である。

経験をデータで把握し、技術指導へ

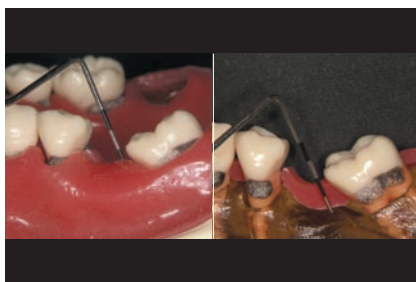
当院では、ご協力いただける患者さんまたはスタッフを患者として、数人のベテランと新人歯科衛生士で歯周検査を行い、そのデータを比較しながら技術指導を行っ

ている。この歯周検査を行うのにペリオナビゲーション2プラスボイスは一人で検査を進められて、データを容易にグラフ化して比較できるため、かなり煩雑な歯周検査

が効率よく行える。新人歯科衛生士も明確にベテラン歯科衛生士との検査技術の違いを把握することができるため、技術習得も着実に進んでいると思う。



4-1 ペリオナビゲーションによるプロービング測定の一部（赤・緑：ベテラン衛生士、青：新人歯科衛生士）。プロービング圧が弱い、特定部位での異なった結果など検査の傾向の違いが見られる。

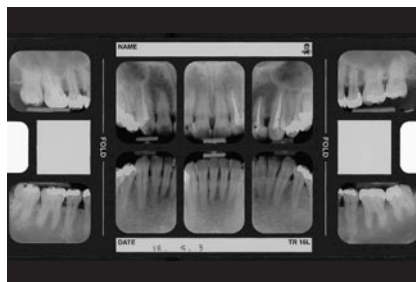


4-2 近心傾斜歯も歯軸に平行にプローブを挿入しないと歯槽骨に当たりプロービング値に誤差が生じる。

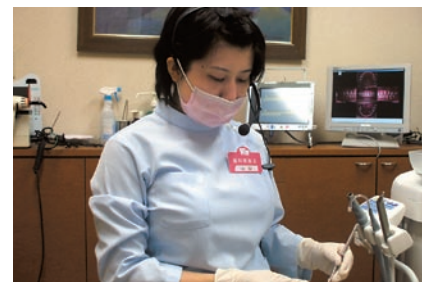


4-3 正しくプローブが挿入された場合。

5-1



5-2



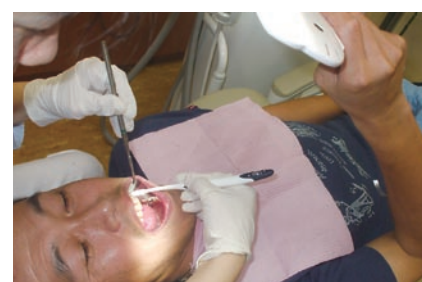
5-3

[illegible]

5-4



5-5



5-6

[illegible][illegible]

種

(No. 3226)

◀ ボケットチャート ▶

● 06/04/11 観察検査

● 06/06/03 観察検査

検査実施機関	年齢	性別	1 Day	4 Day	2week
100	100	男 (5 男 5 女)	0.0	0.02 (0.00)	0.0 (0.00)
100	100	男 (5 男 5 女)	0.0	0.04 (0.00)	0.0 (0.00)

検査日： 06/04/06 06/06/03
検査所： 市立歯科医院 一ノ宮・二ノ宮
医師： 市立歯科医院 齋藤 隆夫

1. 咬合 診察 歯列

上顎

下顎

左側

右側

右側

左側

7mm

7mm

7mm

7mm

ボケットの設置が
2mm以下であれば
ほぼ確実に歯動です

mm

mm

mm

mm

5-7

[illegible]

5-8



5-9

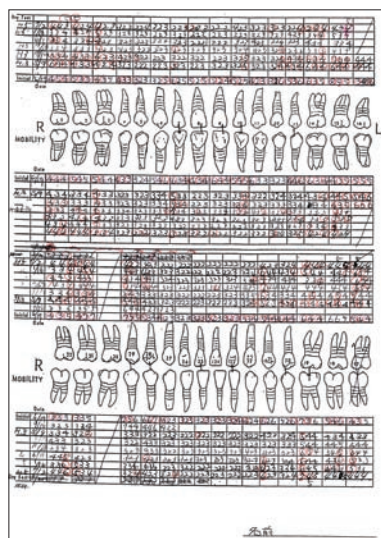
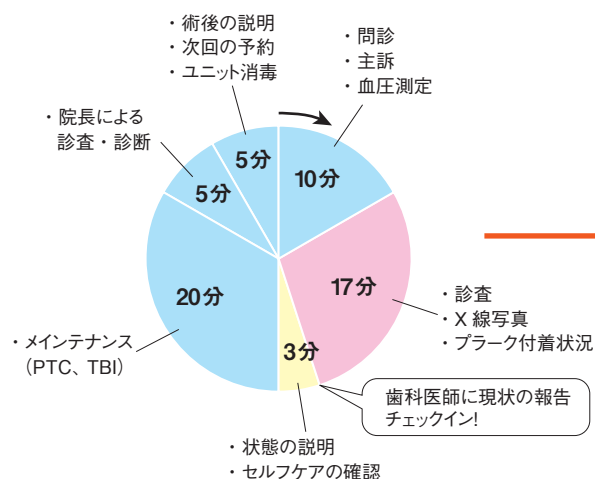
患者さんとのコミュニケーション時間が増える

歯肉の炎症度合い、歯周ポケット形態の把握や歯石付着の状況確認などきちんとした基本的診査の習慣づけが、「プロフェッショナルの技術的な第一歩」と書いたが、歯科衛生士に求められるもうひとつ

の技量として患者さんとの「コミュニケーション力」がある。ペリオナビゲーションの導入によりデータ収集時間が短縮された結果、患者さんとのコミュニケーションの時間に余裕ができた。誰が見ても分かり

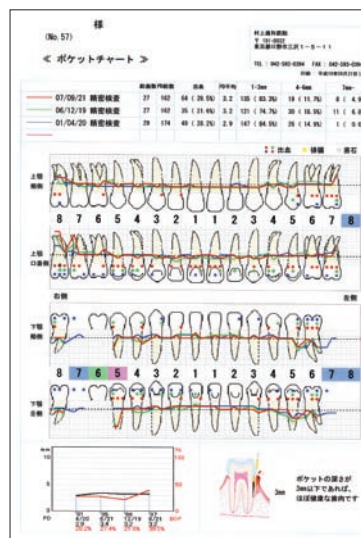
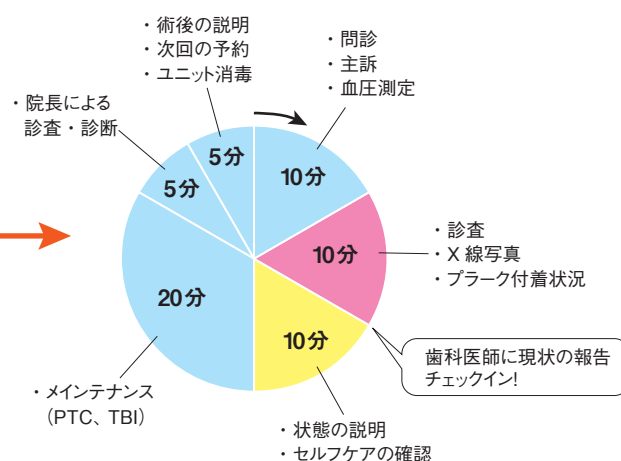
やすい検査結果を基にすることで患者さんへの説明も話しやすくなるなど、若い歯科衛生士が患者さんとのコミュニケーション術をマスターするためのサポートツールとしても大いに役立っていると思う。

●ペリオナビゲーション導入前のタイムスケジュール



ペリオナビゲーション導入前の手書きの検査(6点法)はひとりで行うととても時間がかかっていた。

●ペリオナビゲーション導入後のタイムスケジュール



ペリオナビゲーション2プラスボイス(音声入力)を採用することにより、検査時間が大幅に短縮され、患者さんの状態の説明などのコミュニケーションの充実が図れている。

まとめ

当初は、患者さんとのコミュニケーションの充実、歯科衛生士業務の効率化を目的としてペリオナビゲーションを導入したのだが、新人歯科衛生士に対する教育的効果、ひとりで検査を行いデータを活用し患者さんの口腔内の管理を行うということからプロフェッショナルとしてのモチベーションも高まっていると感じている。さらに、患者さんとのコミュニケーション

時間が増えるといった好結果を得ることができた。繁忙時や小規模医院などでは、新人に対しての教育時間を確保することは難しいのが現状であろう。そのような場合でも、音声による入力機能(オプションのプラスボイス)を活用することで、ひとりで効率的にオレリーやプロービングデータを収集することができる。

最後に、自らの後輩指導経験を振り

返ってみると、若い歯科衛生士を育てるのはやはりなんといっても中心は患者さんたちであった。患者さんが信用し、協力してくれるからこそ、次の世代の歯科衛生士が育ってゆくのである。それには患者さんとのコミュニケーションなくしては得られないものである。

若い歯科衛生士の皆さん、患者さんの期待に応えてがんばろう!